

弘前大学附属病院・泌尿器科病棟 における前立腺生検の診断率

2005/1-2011/7の6.5年の集計

畠山真吾

対象と方法

- 2005/1月～2011/7月までの6.5年間に、当院泌尿器科病棟で生検を行った1114例について、癌の診断率をPSA毎に層別化し解析した。
- 検査者(泌尿器科医師):研修医から准教授まで23名。

患者背景と癌発見率

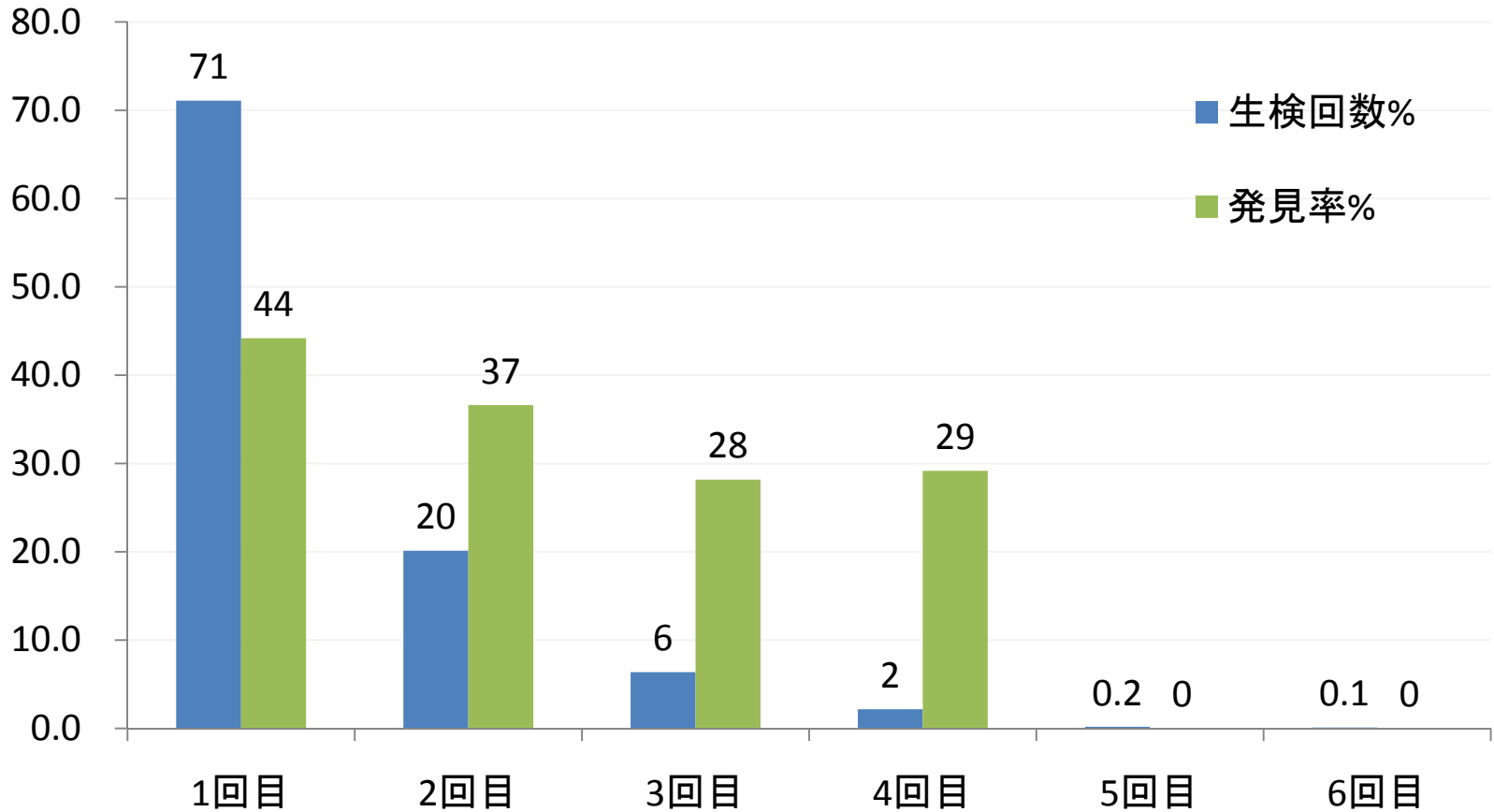
	All	PSA<10	10≤PSA<20	PSA≥20
n	1114	702	236	176
Age	68.9±6.75	68.2±6.66	69.7±6.65	70.7±6.82
PSA (median)	7.71	5.91	13	41.2
癌診断	459	210	106	143
%	41.2	29.9	45.0	81.3

PSA<10で30%、10~20では50%、PSA>20では80%

生検回数

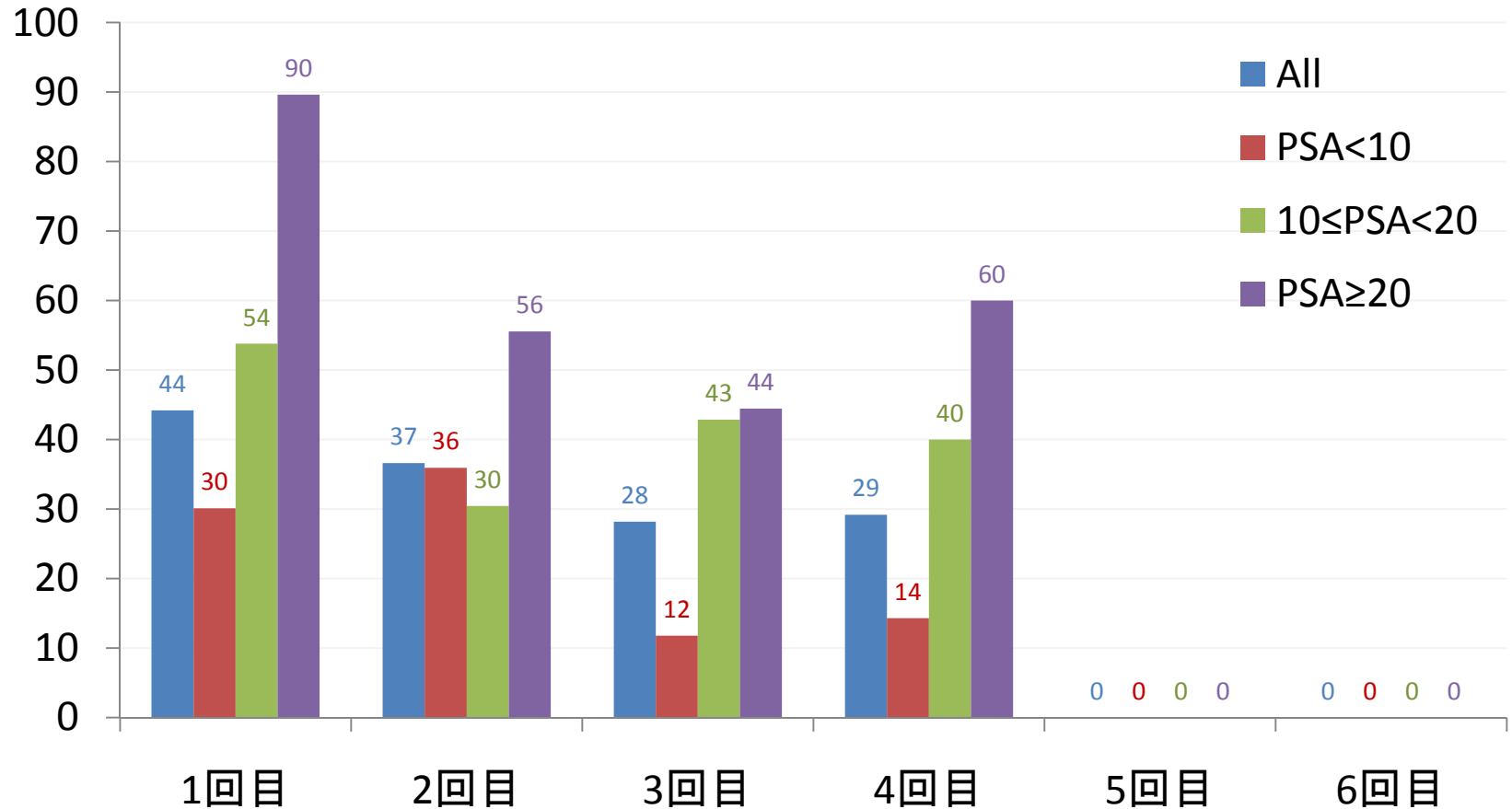
回数	All	PSA<10	10≤PSA<20	PSA≥20
1回目	792	525	132	135
2回目	224	128	69	27
3回目	71	34	28	9
4回目	24	14	5	5
5回目	2	1	1	0
6回目	1	0	1	0

生検回数と発見率(%)

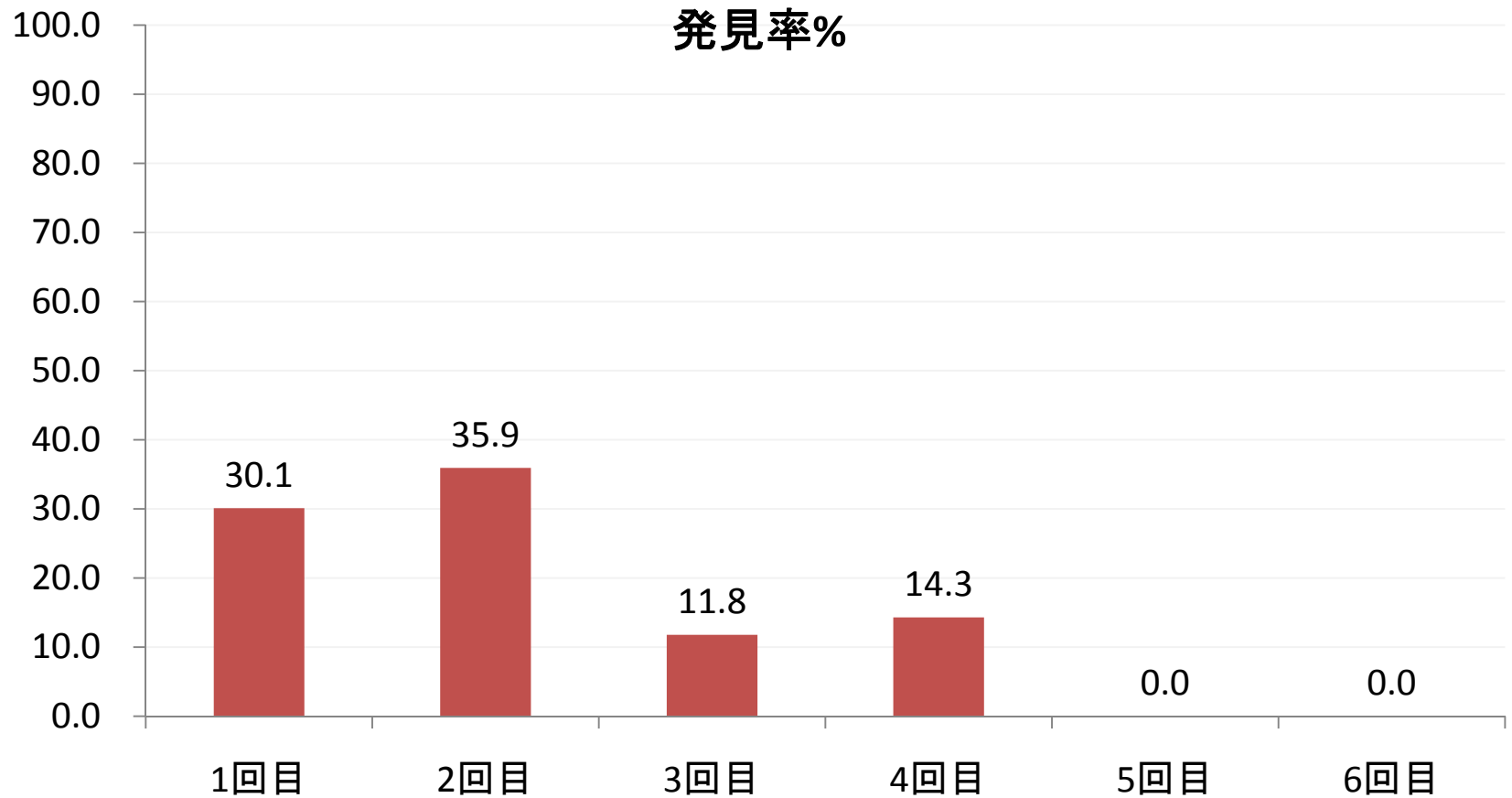


4回以上やっても前立腺癌は発見できない=4回まで意味あり

PSA値と前立腺癌発見率

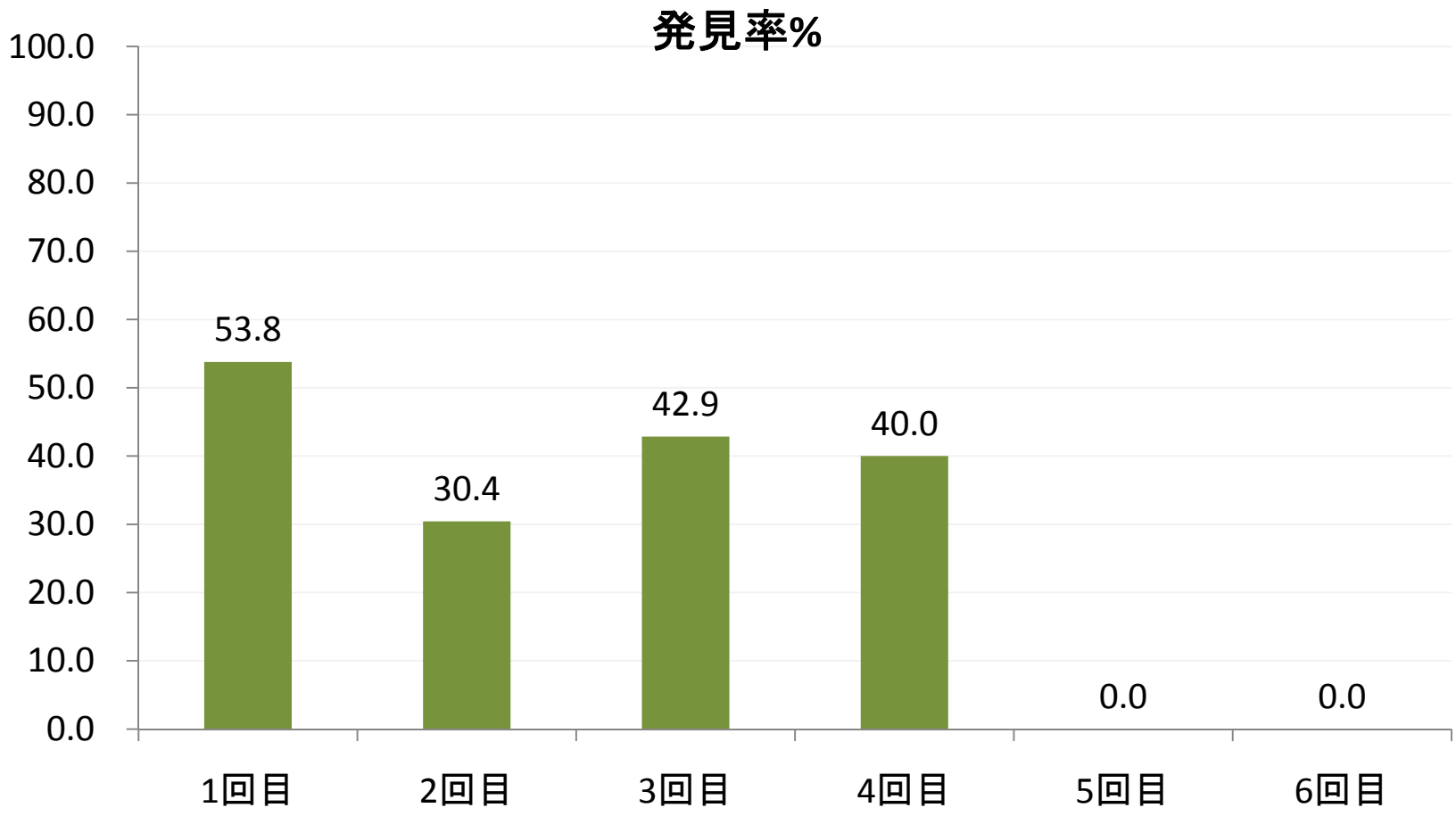


PSA<10 生検回数と発見率



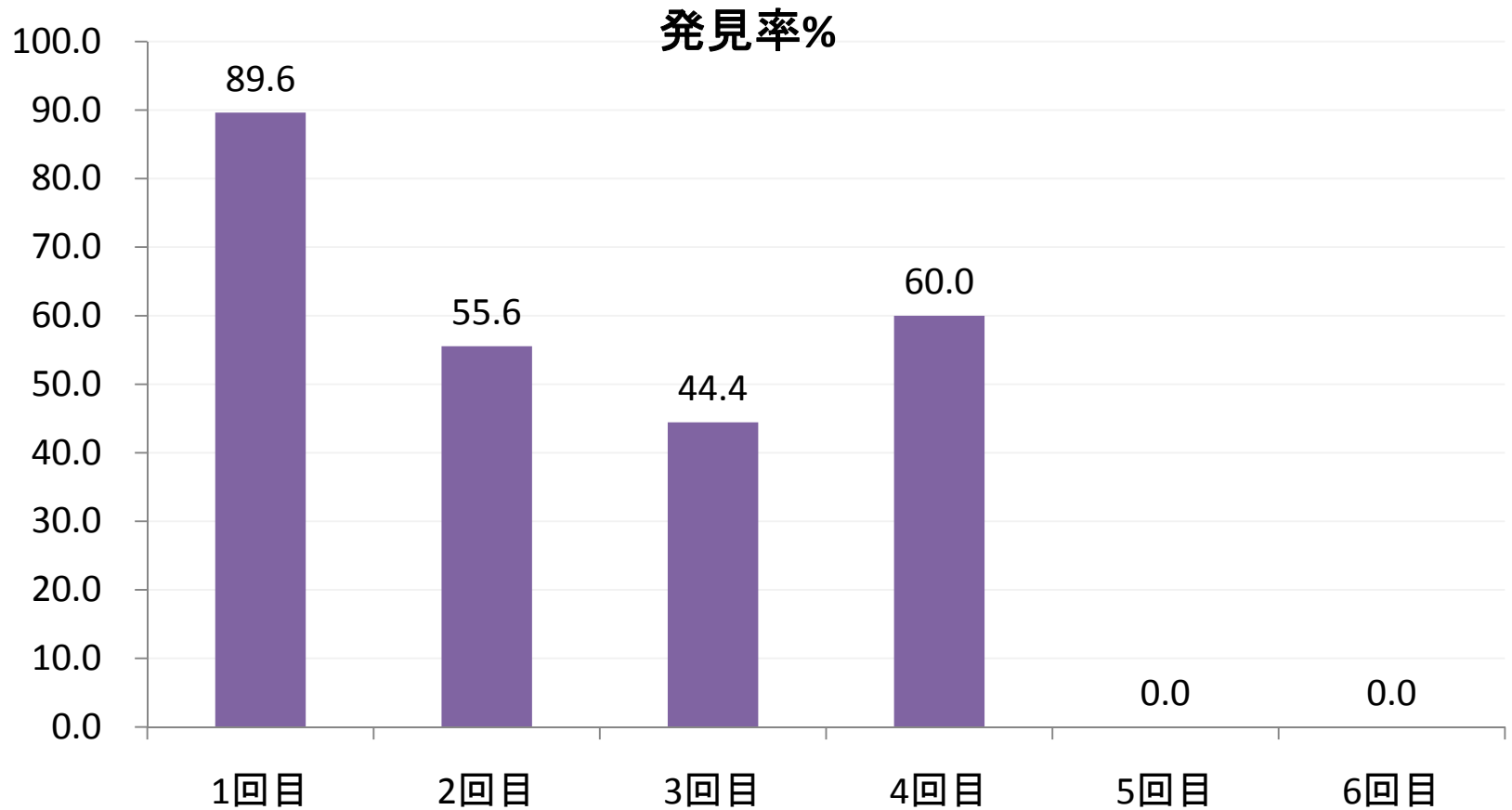
2回まで30%、その後10%台へ下がる

10≤PSA<20 生検回数と発見率



4回目まで40%台をKeepする。PSA10～20では4回まで生検すべき

PSA \geq 20 生検回数と発見率



1回目90%と的中率高い。4回目まで50～60%台をKeepする。4回まで生検すべき

まとめ

- 当院の前立腺生検の前立腺癌発見率は41.2%とやや高い
 - PSA<10: **30%**
 - 10<PSA≤20: **45%**
 - PSA≥20: **81%**
- 最高6回目まで施行しているが、4回目以降の発見はゼロ
- PSA≥10では4回目まで40-60%の診断率
- PSA<10では2回目以降の診断率が低い

Take Home Message

- 津軽・弘前地区は前立腺癌の診断率が高い
- PSA<10なら2回まで前立腺生検を推奨できる
- PSA≥10なら4回まで前立腺生検を推奨できる
- 何回まで必要かは症例ごとに検討が必要
- 不要な生検を避けるためにも、PSAを超える新たなBiomarkerが必要である。